世界遺産
紀伊山地の霊場と参詣道
2024年：世界遺産登録20周年

霊峰 高野山
れいほう こうやさん

総本山 金剛峯寺
金剛峯寺本坊は、弘法大師像(秘仏)を祀る大広間や梅の間、柳の間など美麗な襖を擁する部屋があり、さらに別殿、奥殿などの別棟があります。奥殿の前には、離雄一対の龍が対面する日本最大級の石庭「蟠龍庭」が控えます。

大門

重要文化財
金剛力士像が迫力の高野山の総門

高野山の歴史や文化に触れる

高野山霊宝館

壇上伽藍

壇上伽藍の中心にそびえる根本大塔と金堂

西塔

刈萱堂

重要文化財
徳川家霊台

奥之院

御廟橋

金剛三昧院

世界遺産
紀伊山地の霊場と参詣道
2024年：世界遺産登録20周年

高野参詣道
－天空の聖地高野山を目指し、古より多くの人が歩んできた恒久の道－

標高800mの天空の聖地、高野山。古の時代より人々は祈りながら聖地高野山を目指しました。時代や用途に応じ繁栄し活用されてきた複数の道には、それぞれ異なる歴史、風、物語があります。多様な信仰を育んだ霊場と参詣道、そしてそれらを取り巻く文化的景観の価値が認められ、和歌山・三重・奈良の三県にまたがる「紀伊山地の霊場と参詣道」は、2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。また、高野山内での女性の参拝が叶わなかった時代から現在に至るまで、消えることなく絶えた聖地として女人道、町石道、熊野古道・大辺路・小辺路・中辺路・伊勢路・熊野参詣道・紀伊路・